

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	山形森林管理署	連絡先	050-3160-5850
所管する業務の概要	国有林の管理経営、治山事業の実施、地元自治体と連携した森林整備の推進		

1. 基本的な心構え・行動	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
<p>(基本的な心構え・行動)</p> <ul style="list-style-type: none">・接遇研修を踏まえ、マニュアルを参考に、来訪者や電話、現場であった人等に対しては丁寧な対応に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none">・現場での対応については、個々の対応にばらつきがあることから、課内打合せを励行し、対応方法の向上を図る。
<p>(農林水産業の振興と消費者利益の関係)</p> <ul style="list-style-type: none">・治山工事等の実施に当たっては、地元説明会を開催している。・事業に伴う林道の一時通行止めにより地元の不便が発生する場合は、林道手前にあらかじめ通行制限の表示を行い、可能な限り不便が発生しないよう努めている。・その他、利害が一致しない場合が生じても、相手の話を良く聞き、時間をかけてでも十分な説明を行い、理解を得られるよう努めている。	<ul style="list-style-type: none">・説明会を開催しているが、参加者以外への周知が十分ではない。対策として、署ホームページでの情報提供や、チラシ等のペーパーを作成して周辺の各家庭に配布している。・請負業者等の行動が地域住民の不利益を生む場合もあったので、職員が心がけるだけでなく、業者にも理解を得る努力を続ける必要がある。
<p>(国民の意見、要請、苦情に対する姿勢)</p> <ul style="list-style-type: none">・国民の意見等があった場合には、速やかに事案の確認を行うとともに、所管する課、事務所等に情報を入れ、対応策を検討するよう心がけている。	<ul style="list-style-type: none">・事案によっては対応の素早さを求められたこともあり、現場森林事務所との連携を事案毎にマニュアル化することも検討する。
<p>(国民への情報提供姿勢)</p> <ul style="list-style-type: none">・署の入口に近い総務課は、訪問者への対応を常に念頭に置	<ul style="list-style-type: none">・情報提供に備え、いつでも説明ができるよう書類の整理

<p>きながら業務に当たる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林事務所では、林野巡視の中で、住民から質問が予想される案件（ナラ枯れ等森林被害など）について、最新の情報が提供できるよう、被害状況等の把握に努めている。 ・各種情報については、積極的に署のホームページを通じて情報発信に努めている。 	<p>をしておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい情報提供のため、写真を多用し、専門用語ではない分かりやすい言葉の使用に努める。
---	--

<h2>2. 政策・事業等の企画立案・推進</h2>	
<p>・現在行っている取組や工夫</p> <p>（政策ニーズ等の把握に向けた取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係市町村に事業説明を行うことで相手からの情報提供も得られる関係構築に努めている。 ・森林事務署等現場は、林道被害や山地災害、森林病虫害等の情報を速やかに署に集約し、署では対策の立案に取り組んでいる。 <p>（関係部署との連携強化のための取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・請負事業等を行っている管轄の森林事務所への連絡体制の強化に努めている。 ・森林事務所を含め、市町村担当者等との連携を密にするとともに、事業内容に応じた関係係等との打合せを随時行っている。 <p>（国民への政策等の説明方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明時に写真を活用した分かりやすいパンフレットを作成している。 ・署のホームページからの情報提供の充実のため、コンテンツ作成のための情報提供に努めている。 	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利害関係者からの情報・意見は集まりやすいが、それ以外のニーズの把握が難しい。 ・よりアンテナを高くする必要がある。 <p>・工事内容の変更連絡がスムーズに行かない例があり、専用の連絡様式の作成を検討する。</p> <p>・今後、ホームページのCMS化が行われるので、コンテンツの円滑な移行と更なる充実を図る必要がある。</p>

<h2>3. リスク管理</h2>

<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている取組や工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・点検によって得られた課題とその改善策
<p>(リスク管理の手順・ルール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定されるリスクを事前に洗い出し、対策を検討している。 ・職員間の会話を多く取り、ヒヤリとした出来事について情報の共有を行うとともに、事後の改善策についてもよく話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・想定できなかったリスクが発生した場合の対応が懸念されることから、他事業も含め、これまでのリスクを分析し、提供できるように努める。
<p>(過去の失敗や教訓の活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業現場の監督日誌及び工事日誌を活用して、事案があった場合は書き留める。 ・各職員がヒヤリ・ハット事例を熟読し、自分の業務でも起こりうる可能性を検討するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリ・ハットとして記録される事例がなかなか無いため、今後は幅広くヒヤリハットを捉えて記入するよう努める。

<h4>4. 食の安全に関する取組</h4>	
<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている取組や工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・点検によって得られた課題とその改善策
<p>(食の安全に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員も消費者の一人という立場であり、このことを自覚して、食の安全の重要性を理解するように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の業務と無関係と思わず、「食の安全」が重要だという意識を個々が持つことが必要である。

<h4>5. その他の重要な取組</h4>	
<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている取組や工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・点検によって得られた課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・いつも意見が言える雰囲気作りをしている。 ・他の業務に携わっている職員も含め、コミュニケーションの場を作る取組を時間外も含め行っている。 	